

だれもしらない演芸会

戦後80年 命の音 祈りの舞

キャスト

【木の精】比嘉 陽花 【兄】Soul 【弟】崎山 清翔
【歌】Cocco 【ピアニスト】辺土名 直子
【合唱】那覇市立さつき小学校・那覇市立金城中学校 【弦楽五重奏】琉球交響楽団
【伽耶琴^{ガヤ}】金 明美 【日本箏】山田 広恵 【琉球箏】中村 優希
【三線】與那國 太介・横目 大哉 【笛】澤井 每里子 【太鼓】賀数 さやか
【琉球舞踊】喜屋武 愛香・喜納 かおり・仲宗根 弘将・佐喜眞 一輝
【民俗芸能(沖縄)】八重瀬町志多伯伝統文化保存会・嘉手納町野里共進会・名護市大浦区
【東アジアの芸能】神戸華僑總會舞獅隊

クリエイティブ

【構成・演出】富田 めぐみ 【脚本】平一敏 【音楽監督】辺土名 直子 【映像監督】東盛 あいか
【スチーゾング】呉屋 かなめ 【演出助手】高里 風花
【影絵製作】林 孟宸・李 書樵・周 浚鵬(台湾)



戦後80年の節目に、平和を希求する「沖縄のこころ」を国内外に発信します。
沖縄の多様な芸能・文化と、東アジアの芸能が融合し、
未来の世界の平和と安定を祈願する演芸会を開催します。
沖縄の精神の基となる「エイヤール」や「チャムグクル」といった
普遍的価値を有する琉球歴史文化への理解を深めると同時に、
東アジア地域の芸能文化にも触れることで世界の緊張を緩和し、
お互いの信頼を育む契機になりたいという思いで実施します。
この機会に、ぜひご鑑賞ください。



RBC 琉球放送 特別番組 戦後80年未来へ繋ぐ芸能シリーズ

第1回 2025.11.15 土 13:30~14:00



「1946年の獅子加那志」
八重瀬町志多伯伝統文化保存会
“裸れ獅子”とも呼ばれ、地域の人に愛されてきた八重瀬町志多伯の獅子加那志。生まれたのは1946年、戦争の悲劇が刻まれたダイゴの木で作られた。獅子加那志を作った人、そしてそれを引き継いできた人々の心の物語。

第2回 2025.11.16 日 13:00~13:30



「消えた故郷との絆・野里棒(仮)」
一般財団法人 嘉手納町野里共進会
“一子相伝”で継承されてきた棒術、嘉手納の野里棒。故郷は米軍基地の中に消え、帰ることができなくなった野里の人々。棒を守っていくことが、唯一実感できる故郷との絆。親から子、そして孫へと想いのバトン引き継がれる。

第3回 2025.11.22 土 13:30~14:00



「未来への舞(仮)」
名護市大浦区
戦争と津波により「村踊り」の記録や道具が失われた名護市大浦。伝説の灯は消えかけたが、人々は記憶を踊りに踊りを蘇らせた。今、その継承を担うのは中学生の少女たち。彼女たちの舞は、集落に希望の光を灯す。